



本村小だより

<http://www.higashikurume-school01.jp/~hon-e/>

令和7年6月3日

6月号

東久留米市立本村小学校

校長 永瀬 功二

Tel 042-474-0404

これから子供たちに求められる力

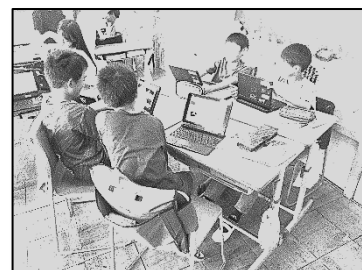
副校長 池田 守

新緑がまぶしく、さわやかな風に初夏の気配が感じられる季節となりました。先日の運動会では、子供たち一人ひとりが精一杯に走り、演技し、仲間と力を合わせて競技に臨む姿が印象的でした。勝ち負けに一喜一憂するだけでなく、応援する声、支え合う姿、そして何より「自分を信じて一生懸命チャレンジする」というスローガンを体現しようとする姿に、改めて子供たちの成長を実感しました。保護者の皆様、地域の皆様には、温かいご声援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

学校行事は、子供が日々の学習や生活で身に付けてきた様々な力が発揮される場です。運動会を通じて、仲間と協働する力、物事をやり抜く力、自ら考えて動く力など、一人一人の学びや成長が見られました。こうした力は、これからの予測困難な時代を生き抜くために必要な力です。ぜひご家庭でも、運動会で何を学べたか、今後の学校生活等でどのように生かせるかなど、お子様とコミュニケーションを取る中で言葉を掛けていただき、学びを価値付けていただけると幸いです。

さて、先日全校朝会で、今東京都がどのような教育を目指しているのかを、「東京都教育振興計画 子供版」を基にお話しました。これからの社会では、より良い変化を目指して、自分で課題を設定し振り返り、責任をもって行動する力が重要であるとされています。変化が激しく、先行きが見えない時代では、従来の「教師に教わる」スタイルの学びだけでなく、「自分で課題を発見し、課題解決する」経験を多く積むことが大切です。

そのためには、子供一人ひとりが「何のために学ぶのか、学んだことがどのように役立つのか」を実感し、納得感をもって学べるような支援が求められます。本村小学校においても、各学年で実施している体験的な学習をさらに充実させながら子供一人ひとりの学ぶ意欲を高めるとともに、一人1台端末も効果的に活用し、日々の学習指導等を充実してまいります。学校公開等の機会を捉え、ぜひ教育活動をご覧いただき、忌憚なくご意見をいただければ幸いです。



一人1台端末を活用して学び合う児童

2学期には、東久留米市の学校全体の授業改善研究会で、本校の教員3名が研究授業を行います。これから子供たちに求められる力を育成することができるよう、教員も「チャレンジ」してまいります。ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。